

会計名			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	富士松市民センター	
款	項	目					担当係		
10	5	9							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	富士松市民センター利用団体の学習意欲の向上と利用団体間の交流、地域住民との親睦を図る。			主たる内容	富士松市民センターにおいて、年1回、利用団体による学習成果の展示会・芸能発表会、お茶会を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	社会教育法					
		対象者	富士松市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	平成2年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		2月19日（日）開催 参加団体数 21団体 参加者数 213人 入場者数 385人		2月17日（日）開催 参加団体数 24団体 参加者数 241人 入場者数 300人		2月16日（日）開催 参加団体数 22団体 参加者数 251人 入場者数 258人		2月中旬開催予定 参加予定団体数 22団体 参加者予定数 260人 入場者予定数 270人	
成果		参加者の学習意欲の向上が図られ、新たな学習課題の発見につながった。 参加団体間の交流が図られた。 参加者と地域住民の交流や親睦が深められた。							
課題		参加団体数、参加者数、入場者数とも前年実績を下回った。 参加団体数、参加者数、入場者数とも、拡大する方策が求められる。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
活動指標	参加団体数（団体）			21	24	22	22	24	
成果指標	来館者数【参加者数+入場者数】（人）			598	541	509	530	550	
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業 コスト	単位：千円		23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（予算）	25年度事業費内訳		
	事業費 ①		320	320	346	347	合計	346,320 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円	
		一般財源	320	320	346	347	使用料及び賃借料	26,320 円	
	職員人件費 ②		1,436	1,768	1,753	1,832			
	総事業費（①+②）		1,756	2,088	2,099	2,179			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度までの累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			学習発表会実施事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	富士松市民センター
款	項	目		担当係	
10	5	9			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	市民の学習意欲を高めるため、学習成果の発表の場を提供することは、生涯学習活動を支援するために必要な事業であり、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、富士松市民センターにおいて学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	富士松市民センター		
款	項	目					担当係			
10	5	9								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	生涯学習施設（富士松市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、施設修理、各種設備機器の日常・定期点検を実施して、施設の適正な維持・保守管理を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民			事業期間	昭和59年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		富士松公民館利用者数 25,548人 施設利用率 34.3%		富士松公民館利用者数 22,306人 施設利用率 33.0%		富士松公民館利用者数 21,174人 施設利用率 31.9%		富士松公民館利用者数 22,500人 施設利用率 34.0%		
成果 (できたこと)		身近な学習施設である富士松市民センターで、公民館利用者が気楽に利用できるよう住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。								
課題 (できなかったこと)		施設利用者、施設利用率とも年々減少している。市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、施設利用者を増やす対策が必要となる。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		富士松公民館年間利用者数（人）			25,548	22,306	21,174	22,500	23,000	
成果 指標		施設利用率（%）			34.3	33	31.9	34	36	
他市との 比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。								
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		10,545	10,649	93,482	13,414	合計	93,482,491 円		
	財 源	特定財源	1,421	1,259	1,347	1,479	需用費	4,177,902 円		
		一般財源	9,124	9,390	92,135	11,935	役務費	181,622 円		
	職員人件費 ②		4,307	4,952	6,312	6,595	委託料	7,769,030 円		
	総事業費 (①+②)		14,852	15,601	99,794	20,009	使用料及び賃借料	53,937 円		
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		市民センター使用料						
27年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 電話料実費徴集金						

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	生涯学習部	
款	項	目					担当課	富士松市民センター	
10	5	9					担当係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。	主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3ヶ月間（各10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者は、10人～20人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に触れられる場を設ける。					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令		社会教育法					
		対象者	市内在住又は在勤の人	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		市民講座開設数 8講座		市民講座開設数 8講座		市民講座開設数 6講座		市民講座開設予定数 6講座	
市民講座受講者数 157人		市民講座受講者数 131人		市民講座受講者数 116人		市民講座受講者予定数 126人			
成果 (できたこと)		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。							
課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果指標		市民講座受講者数（人）			157	131	116	126	130
指標									
他市との比較検証		近隣市(安城市)においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。							
C 事業コスト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		645	690	572	649	合計	571,521 円	
	財源	特定財源	127	107	98	126	報償費	411,000 円	
		一般財源	518	583	474	523	需用費	81,921 円	
	職員人件費 ②		3,230	3,183	3,156	3,298	役務費	25,000 円	
	総事業費 (①+②)		3,875	3,873	3,728	3,947	使用料及び賃借料	53,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		講座受講料					
27年度以降の事業費見込		0							